一般社団法人 神奈川県作業療法士会

神奈川県作業療法士会ニュース

2015年7月 No.174

Contents

巻頭言…… 1
副会長就任のあいさつ…… 2
県士会組織再編・新体制について…… 3
第15回神奈川県作業療法学会県民公開講座アンケート結果の報告… 4
スポットライト～OTの生き方～グループホーム運営編… 5
各部からの報告…… 6
理事会報告…… 8
求人案内…… 9
研修会案内……11
2015年度第2回社員総会（代議員総会）報告 ……12
編集後記……12

巻頭言

～新体制に向けて～

一般社団法人　神奈川県作業療法士会
4代目会長
錠内　広之

5月31日に開催されました一般社団法人神奈川県作業療法士会第2回社員総会（以下、総会）で理事に立候補し、互選により代表理事（以下、会長）に選出されました錠内です。当士会は1981年11月17日に設立され、会長としては4代目となります。初代会長として佐藤馨氏、元会長として長谷川元氏、そして前会長の渡邊愼一氏を引き継ぎ今期の新体制となりました。どうぞよろしくお願いします。

今年度より会長の選出方法が変わりましたので、はじめに少し説明させていただきます。当士会では昨年度より各地区より選出された代議員により総会が開催されるようになりました。今回の総会では役員改選についても審議され、今年度は理事の立候補者数が定数を上回った事で選挙となり、投票も実施されました。会長は新理事の中より互選により選出されると定款で定められており、総会の中で臨時理事会を開催して会長が選出されました。

作業療法を取り巻く環境はここへきて急激に変化しようとしております。国民や関係職種が我々に要求や期待している事がより具体的になってきている事は間違いありません。今年4月の診療報酬改訂においては、これまでの作業療法の取り組み成果が算定要件として反映されたり、“作業療法”という単語が今までなかった場所に記載されていたりしています。これは、これまでの我々作業療法士全体の取り組みの成果であることには違いありませんが、その要求に確実に答えていくことでより安定した作業療法の基盤を固める事ができると考えています。その為にも県士会に加入している事で、県内の他職種に対して作業療法士の“質”の保障をアピールできるような学術的役割は重要と考えます。また時代のニーズに合わせた取り組みも重要と考えます。今期は特に生活行為向上マネージメント推進委員会を立ち上げる事で、日本作業療法士協会と歩調を合わせながら作業療法の役割をより明確にしていきたいと考えています。そして2025年に向けたの超高齢化社会問題として取りざたされる事が多い認知症に関わる作業療法的支援についても、認知症事業対策委員会を立ち上げる事で対応にしていきたいと考えています。今期は理事が大きく交代しましたが、しなければならない事は明確ですので新たなアイデアで乗り切って行きたいと考えています。引き続き会員の皆様のご協力をお願いいたします。

――― 副会長就任のあいさつ ―――

一般社団法人　神奈川県作業療法士会
副会長
中西　浩司

先日開催されました第２回代議員総会および臨時理事会にて、副会長に選任されました、北里大学東病院の中西浩司です。当会員になって24年、理事としては５期９年目、副会長としては２期３年目となります。

振り返ってみますと私には、理事としていくつかの使命が課せられていたように思えます。最初の課題は学術部の改革で、研修会の充実、学術誌刊行、研究助成事業の三本柱を実現しました。そして副会長としての課題は、新卒入会者の確実な確保、次世代に向けての組織改編と合目的な会運営、そして会費に見合うサービスの拡充といった、これまた三本柱であると自覚しています。

しかしそれらの実現までには、いまだ道半ばといったところです。「言うは易く行うは難し」とまではいいませんが。内容を吟味検討し、ほかの理事から賛同を得ていくには、数年単位の時間と根気が必要です。1700名近い組織を指向性もち運営するには、それ相当の労力を要するのです。

さいわい、これまで同じ志で組織改編にとり組んできた錠内新会長のもと、継続してその任にあたることができます。これは私にとって、なによりもありがたいことです。任期中、会員のみなさまからの信任に背くことなく、よりよい会の運営にとり組む所存です。今後２年間、再びどうぞよろしくお願いいたします。

一般社団法人　神奈川県作業療法士会
副会長
澤口　　勇

新会長よりこのたび副会長を拝命いたしました、澤口と申します。どうぞよろしくお願い致します。

県内の精神科単科の病院に就職してから今年で勤続23年目になります。途中、法人内のデイケアへ異動し、地域移行を担当しました。現在は同じ法人内で精神科訪問看護の専従をしております。

思えば、就職時の時代は「精神障害者の方の自律」さえも社会的にはままならない時代だったように記憶しております。病院内で長期入院する方が大半でした。それでも地域に退院する方もおり、その時から在宅へ、病院から職員が訪問して患者さんの様子を伺ったこともありました。それは今のような「精神科訪問看護」の診療報酬基準もない時代で、今思うと、少々無謀でしたが「患者さんのために必要だと思うアプローチ（制度）」を開拓していたのかもしれません。

皆様は日々臨床の中で、ＯＴの技術を駆使しながら、人の作業活動を支える仕事をされていると思いますが、ふと「このような診療報酬項目があったらいいな」「今の制度をこのように改善できないだろうか」と思うことがしばしばあるかと思います。

作業療法士一人一人の「提言」は小さい力ですが、それが大勢になり、団体となった時には行政を動かすことができると思います。

私は皆様の「こういう制度あるといいな」という気持ちに一役担えればと思います。どしどしご要望を県士会まで届けて下さい。お願いにかえましてご挨拶とさせて頂きます。共に頑張りましょう！

県士会組織再編・新体制について

第２回代議員総会にて承認されました新体制について、表のとおりご報告いたします。また総会と同日おこなわれた臨時理事会にて，互選されました担当理事，そして監事，顧問をご紹介いたします。

新体制は，国民がOTにもとめる機能を充実させ、より社会に役立つ組織をめざした編成であるといえます。会員ひとり一人を支え、そして皆さんの力で進んでいく、そのような組織で今期に臨んでいきます。

（文責：副会長　中西　浩司）

	平成26年度まで	平成27年度より	担当理事
三役	会長（代表理事）		錠内　広之
	副会長		中西　浩司　澤口　勇
	事務局		福留　大輔
部	財務部		佐藤　良枝
	学術部		鴻井　建三
	教育部		奥原　孝幸
	広報部		神保　武則
	福利部		吉本　雅一
	地域リハビリテーション部		遠藤　隆晃
	－	制度対策部 ※1	野本　義則
常設委員会	規約委員会		鈴木　久義
	ウェブサイト管理委員会		作田　浩行
	社会保障制度対策委員会	廃止	－
	福祉用具委員会	廃止	－
	学会評議委員会		内山　博之
	企画調整委員会	廃止※2	－
特設委員会	代議員制度対策委員会	廃止※3	－
	－	公益法人化対策委員会※4	野々垣睦美　名古屋和茂
	－	生活行為向上マネジメント推進委員会※5	木村　修介
	－	認知症対策委員会※6	村越　妙美
監事			清宮　良明　田中ゆかり
顧問			長谷川　元　渡邉　慎一

※１　廃止となった社会保障制度対策委員会、福祉用具委員会の機能を引き継ぎ、災害対策の役割を付加した部として新設されました。
※２　機能は三役に集約され、より指向的な会運営をはかります。
※３　公益法人格の取得をめざし、その手続きと公益事業の内容検討をおこなっていくための新設委員会です。
※４　制度が整い、順調に始動したため、その役割を無事終えました。
※５　これまで、おもに地域リハビリテーション部の一部としておこなってきましたが、事業内容の重要性を考慮し、委員会として分離・独立させました。
※６　国策的に重要視される認知症対策について、いち早く対応していくための委員会として新設されました。

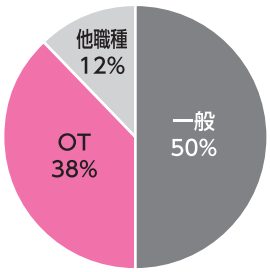
第 15 回神奈川県作業療法学会 県民公開講座アンケート結果の報告

先日の平成 27 年 4 月 19 日、横浜リハビリテーション専門学校にて開催された第 15 回神奈川県作業療法学会において県民公開講座を開催し、多くの一般市民、作業療法士の方にご来場いただきました。

会場にてアンケートを実施しましたので、その結果を報告いたします。

参加者：197 名　アンケート回収数：85　アンケート回収率 43%

職　種	人数	
一　般	43	
O　T	32	神奈川県士会 23　未回答 9
他職種	10	介護福祉士 4、ケアマネ 1、ヘルパー 1、その他 2、未回答 2

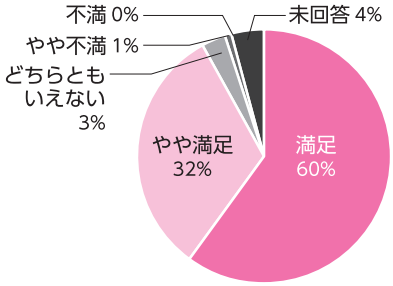


●公開講座の感想

講演 1「脳卒中・認知症から脳を守る　～健康脳を維持するために～」

橋本　卓雄 先生（横浜リハビリテーション専門学校　校長）

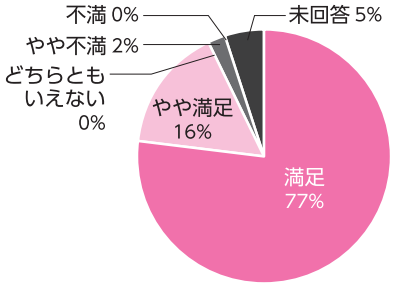
満足度	人数
満　　足	51
や　や　満　足	27
どちらともいえない	3
や　や　不　満	1
不　　満	0
未　回　答	3



講演 2「認知症になりにくい人になる、認知症を生みにくい街にする～今日から私たちにできること～」

大井　博司 先生（広島国際大学リハビリテーション学科作業療法学専攻主任教授）

満足度	人数
満　　足	65
や　や　満　足	14
どちらともいえない	0
や　や　不　満	2
不　　満	0
未　回　答	4



●フリーコメント（一般）※一部のみ掲載

・つい最近、身内が脳出血、認知症になっており、もっと上記の病のことについて詳しく知りたいと思いつつ参加しました。とても今後の介護に役立てていきたいと思います。

・72 歳になりますが、これからの余生をどう暮らしていったら良いか心身ともに学ぶことができました。今のところ充実した暮らしになっているようで安心しました。頑張りたいです。

・いま、軽い脳梗塞で通院しています、認知症が心配でしたが、先生方のお話を伺って、すこし安心いたしました。

・学会にともなって地域で専門家の最新のお話を無料で聞けるのはあいがたいです。仕事、食事に気を付けて健康で長生きしたいです。学生さんの親切な案内が気持ちよかったです。

・あっという間の時間でとても有意義な話を伺うことができました。ありがとうございました。次回があれば、ぜひ参加したいと思います。

・たくさん感動できる言葉を書きとめました。多くの人にも聞いていただきたいと考えます。

（文責：学会広報部　木下）

スポットライト ～OTの生き方～

グループホーム運営編

今年度は「地域で活躍するOT」をテーマとし、第1弾は精神障害者のグループホームを運営している方にスポットを当てます。精神科病院の勤務を経てグループホームの立ち上げ・運営に至った経緯や現状、やりがいを綴ってくれました。

私は現在、横須賀市でグループホームを運営している者です。作業療法士免許取得後、病院勤務を経て、独立開業致しました。簡単ではございますが以下にその経緯や、日々の業務の様子などをまとめさせていただきます。私は学校卒業後、7年ほど精神科病院の院内作業療法を担当する一作業療法士として勤務してまいりましたが、自分の力量不足のため、日々の業務をこなすのがやっとの状態であり、「精神科作業療法」と銘打ってはいるものの、それが本当に患者さんのリハビリテーションとして効果を発揮しているのだろうか…ということを疑問に思う日々が続きました。そして、退院を希望する患者さんのニーズの多くが、『帰住先が無い』という現実的なものではないかと思い、それに応えられるような直接的な支援がしたい、グループホームを開設するのはどうだろうか…という思いが募っていきました。

そんな中、神奈川県保健福祉局　福祉・次世代育成部障害サービス課が主催する『グループホーム等サポートセンター設置運営に向けた説明会』に参加する機会に恵まれ、グループホーム開設までに必要な手続きや手順、満たすべき基準や開設に至る道筋を丁寧に教えて頂きました。単純な私は、「教わった通りに進めていけば開設することができる」と考え、実行に移すことに致しました。手続等いろいろと大変なことはありましたが、2年ほどの準備期間を経て無事に開設に至り、現在2年余りが経過したところです。

日々の業務としては、出勤後、それぞれの利用者さんの状態を確認し、就労やデイケア・作業所等の日中の活動場所に通うことを支援したり、日々の生活に関する相談支援や家事援助を行うことが主な業務です。状態安定時は日常生活が自立されている方も多く、見守り程度の支援しか必要のないことも多いのですが、やはり病気の特性として症状が動揺しやすいため、状態悪化時には多くの支援を要することもありますし、非常に規模が小さい事業所ということもあって、管理者としての責任や事務的な業務もあり、それらに忙殺される日も時にあります。

規模が小さいが故の身動きのとりやすさ、意思決定から実行までの迅速な対応がとれるというメリットがある反面、やはり病院勤務時代にあった、多くの人々や制度に守られていたという安心感がなくなってしまったというデメリットがあることも否めません。しかし、限られたスタッフと協同しながらアットホームな雰囲気で仕事をすることができており、個人的には満足しております。

地域における精神科マネジメントでは、職種の枠にとらわれることなく、利用者さんの支援において必要な資源やサービスを提供したり、問題解決のために臨機応変に動くことができます。具体的には、就労継続支援、就労移行支援、地域活動支援センター、就労サポーター、自治体の障害福祉課、保健所、デイケア、訪問看護など、利用者さんがその時に必要としているサービスの事業者と迅速に連携をとり、問題の解決やニーズの拡充を図ることができます。個人的には今後、作業療法士の活躍の場が、グループホームや作業所などの地域の場に拡大していくのではないかと思っています。

病院のOTと地域のOTが連携していくことで、利用者さんにとってより充実した支援を提供することができると思いますので、今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

特定非営利活動法人立心会 坂の上の家　富所明夫

あとがき

今回は病院から地域へ飛び出し、自らグループホームを立ち上げ、精神障害を持つ方たちの地域生活を支えるために奮闘している方にスポットを当てました。いかがだったでしょうか。次回も地域で活躍するOTさんを特集したいと思います。ご期待ください！

ご感想やご意見を募集しております。県士会福利部〈fukuri@kana-ot.jp〉まで是非お寄せください。

（なおこの記事は県士会WEBサイトにも掲載していますので、そちらもご覧ください）　（文責：福利部　松岡太一）

各部からの報告

学術部

平成 27 年度 研究助成事業研究課題募集のお知らせ

1．応募資格者
神奈川県作業療法士正会員
（応募年度までの会費納入済みの方）

2．研究組織
３法人以上の神奈川県作業療法士正会員を含む研究者で構成交付決定

3．研究期間
平成 27 年 10 月中～平成 29 年３月 31 日
（約 18 カ月間）

4．公募期間
平成 27 年６月１日～平成 27 年８月 31 日

5．課題採択の可否
平成 26 年９月末日までに事前評価委員会にて決定

6．応募・投稿義務
①神奈川県作業療法学会または日本作業療法学会への応募
②「神奈川作業療法研究」または「作業療法」への投稿

7．研究計画書書式
神奈川県作業療法士会ウェブサイトよりダウンロードして使用すること
その他：ウェブサイトを参照

8．助成金
研究課題１件に対し最大 20 万円助成
※「研究」となると、敷居が高く感じられるかもしれませんが、まずはチャレンジしてみようといったものでも相談に乗れます。また各 SIG でも活用していただき、SIG のアピールや SIG 会員間の絆に繋げられると思います。

相談先：津久井浜整形外科クリニック　安部　剛央
slash-take0827@tbz.t-com.ne.jp

平成 27 年度　神奈川作業療法研究投稿論文募集のお知らせ

1．発刊頻度
年１回（毎年３月発刊）

2．募集の内容
研究論文、実践報告、総説、短報など

3．投稿資格
神奈川県作業療法士正会員
（投稿年度までの会費納入済みの方）

4．査読
１投稿論文に対し、２名の査読者によって行う
その他：ウェブサイトを参照のこと

相談先：神奈川県立保健福祉大学　白濱　勲二
shirahama-k@kuhs.ac.jp

教育部

県士会ウェブサイトから質問ができます！

連載「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」

今号の「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」は、今年度の教育部主催の OT 協会生涯教育制度関連の研修会に関してお知らせします。原稿提出の段階で未定な研修会が多くありますが、例年通り以下の研修会を開催します。開催情報は県士会ニュース、県士会ウェブサイトに掲載しますのでご注意ください。

1．**現職者共通研修**：全 10 テーマ、生涯教育制度の必須基礎研修で、テーマ毎に受講します。
第１回現職者共通研修は、10 月開催予定です。なお、この際に「県士会新入会員オリエンテーションと歓迎会」が開催されます（福利部主催）。新入会の方はぜひご参加ください。先輩会員は新入会員にお声かけいただいたり、OT 協会、県士会への入会をおすすめください。
※今号チラシに詳細が同封されています。ご確認の上お申し込みください。

2．**現職者選択研修**：領域別（身体・老年期・精神・発達の各障害領域）の生涯教育制度必須基礎研修で、2 領域を選択受講します。受講修了には一領域：90 分× 4 コマの一括受講が必要ですが、コマ単位での部分受講も可能です（ただし受講修了したとは認められません）。なお、選択領域は業務の領域とは関係ありません。
※今年度は、領域を検討中です。2016 年になって開催します。詳細は決まり次第お知らせします。

3．**事例報告登録制度研修会**：事例報告登録は認定作業療法士申請に必須です。毎年 OT 協会学術部にご協力いただいて開催しています。詳細は決まり次第お知らせします。

ご不明の点はご連絡ください。県士会ウェブサイトからもご質問ができます。

教育部 奥原孝幸（神奈川県立保健福祉大学）
046-828-2738（直），kyoiku @ kana-ot.jp

広報部

JA 横浜主催「作業療法士による介護予防について」健康講話を行いました

2015 年 4 月 9 日（木） 於：JA 横浜女性組織総会

この度神奈川県作業療法士会広報部では、農協さん主催の企画に参加させていただきました。

JA 横浜女性組織は、毎年「ふれあい講座」という農協利用者への健康関連の講座を各支店で開催しているそうです。健康に興味関心の高い方々に向けて、作業療法士会でも講話ができないかと相談しましたところ、この度、4 月の総会にて「介護予防」に関する講話をさせて頂きました。

介護予防の話では「農作業に関連する身体の話」「こころの介護予防として認知症や高齢者うつの話」「介護生活の工夫」の 3 つのテーマでお話し致しました。

総会参加者は JA 横浜の 30 支部の代表者が参加されており、講話の後には「高齢女性によくある切迫性尿失禁に対する予防体操（骨盤底筋群）を教えてほしい」や「地元の支部でも講師をお願いしたい」といった質問や好評をいただきました。

今回の企画は、今年度からの新しい試みとなります。健康に興味を持つ高齢者に対し、「介護予防と作業」の視点から作業療法を啓発する貴重な機会となりました（＾＾）

健康講話　会場の様子

今回の貴重な機会を契機に、一般県民の介護予防の意識が高まるお手伝い、そして地域での作業療法士の認知度が高まるよう、広報部では引き続き頑張りたいと思います。（文責：酒井）

相模原市民若葉まつりに参加して

2015 年 5 月 9 日（土）～ 10 日（日）

5 月 9 日・10 日の 2 日間、相模原市民若葉まつりに神奈川県作業療法士会ブースを出展しました。自助具（ボタンエイド）製作体験や片まひ体験スーツの装着など、市民参加型の体験ブースでは、準備していた 200 個の全ての自助具を体験・配布しました。

今年で 3 回目となりますが、両日ともに快晴で開始から多くの市民の方が来場されました。県士会パンフレットを手に取る方からは、「両親の介護で OT を知っている」「子供が OT を目指している」「私、リハビリをしてもらったことがある」との声が聞かれ、年々『作業療法』の知名度が高まっているように感じられました。また、「去年もこれ（ボタンエイド）作ったのよ。おばあちゃんに使ってもらったわ！」といった声も伺うことができました。（文責：荻野）

自助具（オープナー）紹介の様子

ボタンエイド作成の様子

理事会報告

平成26年度　第7回　一般社団法人神奈川県作業療法士会理事会　抄録

日 時　平成27年4月23日（木）19：05 ～20：25　　場 所　神奈川県作業療法士会事務所

出席理事：渡邉、中西、澤口、野々垣、出口、吉本、木村、鈴木（久）、三浦、沼田、作田、内山
委任理事：錠内、鈴木（孝）、奥原　　**出席監事**：清宮　　**委任監事**：淺井
その他：酒井（広報部）、金山・白鳥（事務局：書記）

●事務局（澤口事務局長）

⑴**会員派遣**

・横浜市健康福祉局高齢健康福祉部より「地域リハビリテーション活動支援事業の開始に向けた活動（研修、検討会及び打ち合わせ等）について
区職員向け研修の開催：平成 27 年６月～８月（３回）
事業検討会の開催：平成 27 年５月１２日（木）
事務打ち合わせ：平成 27 年４月より必要に応じて実施
⇒講師派遣等：木村理事

・神奈川県立保健福祉大学懇談会委員へのご就任依頼
医療専門職連合会会長宛として依頼あり
任期：平成 27 年４月１日～平成 29 年３月３１日まで
回数：年１回から２回
⇒現職は放射線技師会会長→現行は作業療法士会会長なのですが、当会の役員改選を鑑み、錠内副会長にて提出

⑵**他団体より研修会等周知依頼**

・第２回昭和大学上條医療賞の広報推薦依頼
（4/1 ～ 9/30 応募期間）⇒ HP 掲載済
医学・医療分野の教育及び地域保健医療において創造的かつ先駆的諸活動を行い、大きな成果を挙げた実践者又は実践グループを顕彰することが目的。
受賞者：６件（全体）
対象：医療人育成部門、地域保健医療貢献部門、医療技術部門

⑶**ＯＴ協会関連**

・平成 27 年度第１回 47 都道府県委員会
日時：平成 27 年４月 12 日（日）10 時～ 12 時 30 分
場所：ＴＫＰカンファレンスセンター
出席：錠内副会長
内容：地域支援事業の基本的知識の整理、先駆的に取り組んでいる士会からの報告、認知症カフェなど

・リハビリテーション専門職団体協議会主催三協会合同士会長会議
日時：同上 13 時 15 分～ 16 時 30 分
場所：同上
参加者：都道府県ＯＴ士会・ＰＴ士会・ＳＴ士会の会長
当会より出席：錠内副会長
講演１（日本リハビリテーション病院施設協会会長：地域包括ケアシステムを目指したリハ協議体制の構築）
講演２（厚労省老健局：地域包括ケアシステムにおけるリハビリ専門職への期待）
紹介（３士会協働事業、モデルケースの紹介）、各都道府県活動行動指針の作成

・平成 27 年度生涯教育制度推進担当者の推薦依頼
任期：平成 27 年４月１日～平成 29 年３月 31 日
会議：６月（学会時）、１０月頃（東京）
人数：各士会１名　現職：奥原理事のまま次期も推薦する。

⑷**事務所管理**

・事務専従１名募集中：ハローワークに事業所登録を行っている。⇒現在２名の募集あり、近日面談予定。

⑸**神奈川県介護支援専門員協会理事候補推薦**
（締め切り：4/27）
役職名：ＮＰＯ法人神奈川県敬語支援専門員協会理事（候補）
任期：平成 27 年６月１日～平成 29 年５月 31 日
現職：錠内副会長→次期候補：澤口事務局長　⇒承認

⑹**神奈川県リハビリテーション協議会連携指針検討部会委員任期延長の通知**（締め切り：4/30）
依頼：神奈川県保健福祉局保健医療部
任期：平成 27 年４月１日～平成 28 年３月 31 日
現職：渡邉会長→次期：中西副会長　⇒承認

⑺**役員選挙について（選挙管理委員会より）**

・立候補の結果報告（立候補締め切りは 4/22）
理事：定数 10 名以上～ 18 名以内のうち 12 名が立候補
監事：立候補なし

・選挙広報について
立候補者に PR 文を作成していただき、広報に掲載する。
５月上旬までに発行できるよう準備していく。

⑻**小田原市糖尿病週間実行委員の選出**
事務局より推薦：野津・石井（小澤病院）⇒承認

⑼**介護予防事業ワーキング委員について**
（神奈川高齢者福祉計画評価・推進委員第２専門部門）
⇒木村理事を推薦する。

⑽**神奈川県における三士会地域包括ケアシステム推進本部の設置について**
⇒神奈川県理学療法士協会より提案あり。地域リハビリテーション協議会とは別団体として、窓口を設けてはどうかとのこと。前向きに検討する形で返答済み。

●広報部（出口理事）

・対外広報班
４月　JA 横浜　「健康講和」　終了

・対外広報促進グッズ作成
(名入れペットボトルオープナーなど)

・相模原市若葉祭り準備中 (平成 26 年４月開催⇒平成 27 年度５月に開催)

●地域リハビリテーション部（木村理事）

・地域リハビリテーション三団体協議会について
⇒訪問リハビリテーション協議会から名称変更。規約も一部変更。当協議会は PT/ST/OT 士会の協働の窓口として位置づけており、三士会の会長三名が相談役となる。予算をどのように持ち寄るかなど協議会を進めるため詳細を詰めていく必要あり。

・MTDLP 関連
生活行為リハビリテーション加算の要件
OT の場合：生活行為向上マネジメント概論 90min ＋演習 330min ⇒基礎研修終了
基礎研修終了後１年以内に事例投稿もしくは事例発表
⇒実践者研修修了
※本年も同研修会を６月５日より開始予定。PT・ST は研修内容・時間が異なる。

●財務部（野々垣理事）

・平成 26 年度決算報告・平成 27 年度予算案⇒承認
予算増：福利部⇒前年度まで事務局が担っていた部分を福利部に移行。
予算減：財務部⇒未納者への催促状の郵送などが減少。
地域リハ部⇒生活行為向上マネジメント事業を特設委員会化予定。

●学会評議委員会（内山理事）

・第 15 回神奈川県作業療法学会（H27/4/19）
参加人数合計 697 名
（県学会 504 名、県民公開講座のみ 193 名）
①神奈川県臨床作業療法大会の URL 表記
神奈川県作業療法学会
ＵＲＬは「congress/koct15th」:Kanagawa Occupational Therapy Congress(略して KOTC.)
②神奈川県臨床作業療法大会
URL は「conference /kccot2nd」:Kanagawa Clinical Conference of Occupational Therapy
（略して KCCOT.）
http://kana-ot.jp/ conference /kccot2nd/

※紙面の都合で一部割愛・詳細は県士会 Web へ（文責：澤口）

求人案内

作業療法士（訪問リハビリ）募集　医療法人社団 景翠会 金沢病院グループ

訪問未経験者歓迎！ 件数に追われることなく、利用者様としっかり向き合える訪問リハです。

仕事内容：訪問リハビリ業務
募集人員：作業療法士 2 名（正職員）
待　　遇：当法人規定により優遇
（経験年数加算あり、昇給年 1 回、賞与年 2 回）
福利厚生：社保完備、交通費全額、退職金（勤続 3 年以上）、職員旅行、研修補助等
勤務時間：8：30 ～ 17：30（休憩 1 時間）
勤 務 地：次の 2 拠点から選択
① けいすい訪問看護ステーションふるさと
（神奈川県横浜市金沢区柴町 391-10）
② けいすい訪問看護ステーション逗子
（神奈川県逗子市逗子 4-1-22）
休　　日：土曜、日曜、祝日（年間休日 120 日）、有給休暇（初年度 13 日）、夏季休暇、年末年始休暇、その他特別休暇
応募方法：まずはお気軽にご連絡ください。

問い合わせ先
TEL：045-780-5210
担当：人事課・鈴木
E メール：saiyou_hospital@keisuikai.jp
URL：http://www.keisuikai.or.jp/

作業療法士 募集　医療法人社団 景翠会 金沢病院

リハビリに力を入れている、地域密着型病院です。急性期から回復期まで幅広い疾患を経験できます。

募集人員：作業療法士 2 名（正職員）
施設概要：173 床（うち回復期リハビリ病棟 45 床）、内科、整形外科、外科、眼科、糖尿病センター、脳神経外科、神経内科、リハビリテーション科
待　　遇：当法人規定により優遇
（経験年数加算あり、昇給年 1 回、賞与年 2 回）
勤務時間：8：30 ～ 17：30（休憩 1 時間）
休　　日：日曜＋ 1 日休シフト、祝日（年間休日 120 日）、有給休暇（初年度 13 日）、夏季休暇、年末年始休暇ほか
福利厚生：社保完備、交通費全額支給、退職金（勤続 3 年以上）、職員旅行、研修補助、職員食堂、制服貸与等
応募方法：まずはお気軽にご連絡ください。

問い合わせ先
〒 236-0021　横浜市金沢区泥亀 2-8-3
TEL：045-780-5210
担当：人事課・鈴木
E メール：saiyou_hospital@keisuikai.jp
URL：http://www.keisuikai.or.jp/

作業療法士（正社員・パート）募集　医療法人社団 厚済会

港南中央駅より徒歩 2 分の病院です。

待　　遇：社会保険完備、昇給年 1 回、賞与年 2 回、退職金・研修の各制度あり、給食費補助・年末年始手当あり、有給休暇、交通費全額支給、個人寮完備
給　　与：[正]190,000 円～ 445,000 円
[パ]1,500 円～ 2,000 円　経験・能力による
勤務時間：[正] 8：30 ～ 17：30（休憩 1 時間）
[パ] 週 1 ～ 5 日程度の勤務
勤 務 地：横浜じんせい病院
横浜市港南区港南 3-1-28
休　　日：シフト制 (月間 8 日～ 9 日)、年間休日 107 日
応募方法：電話連絡の上、履歴書 (写真貼付) をご郵送ください。書類選考の上、こちらより折り返しご連絡します。

問い合わせ先
〒 233-0002　横浜市港南区上大岡西 1-10-1
TEL：045-840-3637
担当：総務課
E メール：jinji@kousai.or.jp
URL：http://www.kousai.or.jp

作業療法士 募集　医療法人社団 輝生会

募集人員：若干名 (常勤)
応募資格：新卒者 / 経験者 (有資格者) ともに募集
待　　遇：賞与有、各種社会保険完備、各種手当、通勤支給（規定内）
勤務時間：日勤 8：30 ～ 17：30、早出 7：00 ～ 16：00
遅出 12：30 ～ 21：30
勤 務 地：初台リハビリテーション病院
（東京都渋谷区）
休　　日：シフト制 (年間公休 122 日、月平均 10 日)
有給休暇、介護休暇、特別休暇
応募方法：当法人 HP より履歴書・職務経歴書をダウンロードしご記入の上、資格免許証写しと共に下記へご郵送ください。

★見学随時受付中です！お気軽にお問い合わせください★

問い合わせ先
〒 110-0015　東京都台東区東上野 1-28-9 キクヤビル 5 階
サポート本部 採用担当 宛
TEL：03-5816-8053
URL：http://www.kiseikai-reha.com/recruit/

求人案内

作業療法士募集　医療法人社団青葉会 介護老人保健施設 牧野ケアセンター

募集人員：常勤２名
施設概要：入所 150 床（うち認知棟 50 床）
通所 50 名
給　　与：当法人規定により優遇します。
勤務時間：8：30 ～ 17：00
休　　日：年間 111 日
福利厚生：各種社保完備、退職金制度有、職員寮有、保育室完備、車通勤可
応募方法：電話連絡の上、履歴書を持参又は下記宛に郵送してください。
交　　通：JR 横浜線「鴨居駅」下車横浜市営バス 36 系統約 10 分、「小川橋」より徒歩５分

問い合わせ先
〒 221-0864　神奈川県横浜市神奈川区菅田町 1481-1
TEL：045-472-9111
FAX：045-472-9136
担当：藤川
E メール：j_fujikawa@tmg.or.jp
URL：http://www.tmg.or.jp/makino_care/

作業療法士募集　柳田診療所

デイケア室にて地域高齢者生活機能維持リハビリを行い、同時に認知症や認知症予備軍の進行防止、回復を集団とタスキ握りをキーワードに実践創造してゆく。

募集人員：常勤１名（その他の勤務形態は応相談）パート可
施設概要：診療所付属で上限 28 名のデイケア室
関連施設にグループホーム１ユニット、17 名のデイサービス、居宅事務所、調理室
給　　与：25 万～ 30 万円
勤務時間：９：00 ～ 17：00
休　　日：４週８休
応募方法：電話やメール連絡の上、履歴書持参。
交　　通：JR 川崎駅下車市営埠頭行バス乗車中島交番下車２分。又は京急大師線鈴木町下車 10 分。

問い合わせ先
TEL：044-233-0061
担当：柳田　明
E メール：cbs59960@pop21.odn.ne.jp
URL：http://www.yanagida-kaigo.co.jp/

作業療法士随時募集　医療法人敬生会 ともろー訪問看護ステーション 本部

「あなたの生き方に寄り添う看護を」
訪問リハビリ体制拡充につき、
横浜市内　２ステーションでスタッフ同時募集！

募集人員：常勤　若干名　　非常勤　若干名
待　　遇：当法人規定による
昇給年１回、賞与年２回、社会保険完備、マイカー通勤可、交通費支給、制服貸与
勤務時間：月～金　9：00 ～ 17：30
非常勤　月～金　①9：00 ～ 16：25
②9：00 ～ 13：00
③13：00 ～ 17：00
勤 務 地：旭区市沢・港南区野庭
休　　日：土・日・祝日・年末年始・夏期休暇
応募方法：電話連絡の上、履歴書郵送願います。

問い合わせ先
〒 244-0814　横浜市戸塚区南舞岡 1-23-9
TEL：045-823-1976
FAX：045-828-1030
E メール：oubo@keiseikai-med.jp（採用担当）
URL：http://www.keiseikai-med.jp/

作業療法士急募　医療法人社団 祐昇会

整形外科・脳神経外科・訪問リハ・通所リハを展開中
通所リハビリ強化のため、経験者の方を募集します

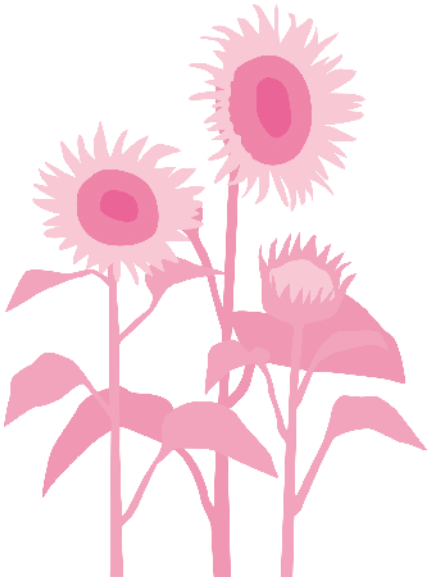
募集人員：複数名
（通所リハでの常勤・非常勤 PT/OT）
施設概要：整形外科クリニック（外来リハ）
通所リハビリテーション
訪問リハビリテーション
待　　遇：当法人規定により優遇
勤務時間：8：00 ～ 17：00（休憩１時間）
休　　日：木・日曜・祝日・夏季冬期休暇有
応募方法：まずはメールにてお問い合わせください。
そ の 他：託児所有（社割適用）

問い合わせ先
〒 226-0027　横浜市緑区長津田 5-5-13
長津田メディカルスクエア 5F
TEL：045-988-5575
E メール：yushoukai0320@gmail.com
URL：http://www.yushokai.or.jp/

作業療法士募集　医療法人社団 亮正会　総合高津中央病院

募集人員：1 名
給　　与：246,700 円
手　　当：時間外勤務・通勤等
勤務時間：平日 8：30 ～ 17：15（休憩 60 分）
土曜日 8：30 ～ 12：30（休憩なし）
勤 務 地：川崎市高津区溝口 1-16-7
休　　日：日曜、祝日、指定休（年間 1 3 日）、
年末年始 5 日、リフレッシュ休暇 1 日、慶弔休暇
有給休暇初年度 10 日、育児休暇、介護休暇あり
福利厚生：互助会（共済事業、レクリエーション、クラブ活動）、診療費補助制度
応募方法：提出書類：履歴書 (写真添付)、作業療法士免許写
選考方法：書類選考・小論文・面接

問い合わせ先
TEL：044-822-6578（直通）
担当：事務局　人事課求人担当　御崎



研修会案内

第 7 回　山梨県作業療法学術大会
主　催：一般社団法人山梨県作業療法士会
会　期：2015 年 12 月 6 日（日）
会　場：山梨英和大学
ＵＲＬ：http://ot-yamanashi.org/

第 42 回日本リハビリテーション工学協会 車いす SIG 講習会 in 浜松
主　催：日本リハビリテーション工学協会車いす SIG
日　程：2015 年 8 月 1 日（土）・2 日（日）
会　場：アクトシティ　コングレスセンター
ＵＲＬ：http://www.wheelchair-sig.jp

川平法　脳卒中に対する促通反復療法
主　催：NDK 横浜研修
日　時：2015 年 12 月 20 日（日）
場　所：ウイリング横浜
問合せ先：shiritai.yokohama@c3-net.ne.jp

第 2 回 運転と作業療法研究会（旧「作業としての運転 ～自動車運転支援研究会」）
主　催：運転と作業療法研究会
日　時：2015 年 10 月 24 日（土）・25 日（日）
場　所：首都大学東京 荒川キャンパス
問合せ先：「運転と作業療法研究会」事務局（松原）
〈メール〉aoneasacom@yahoo.co.jp

第 8 回 運転と認知機能研究会
主　催：運転と認知機能研究会
日　時：2015 年 12 月 5 日
場　所：新宿パークタワー 23 階 (エーザイ株式会社)
問合せ先：運転と認知機能研究会事務局
〈メール〉info@cogdrive.org

第 19 回作業科学セミナー
主　催：日本作業科学研究会
日　時：2015 年 11 月 28 日（土）、29 日（日）
場　所：クリエート浜松
問合せ先：第 19 回 作業科学セミナー事務局（太田）
〈メール〉osseminar19@jsso.jp

2015 年度
第 2 回社員総会（代議員総会）報告

5 月 31 日（日）、横浜リハビリテーション専門学校において、第 2 回社員総会が開催されました。代議員総数 61 名の内、参加者 51 名、委任状 10 通で総会は成立。大郷和成（新戸塚病院）議長のもと、第 1 ～ 5 議案について全員の賛成を頂き承認されました。また第 6 号議案では理事候補者数 19 名（定数 18 名）において役員選挙が行われ、選挙後第 1 回臨時理事会において県士会組織再編・新体制が可決確定しました。

その中で会員皆様が特に関心のある、第 4 号議案 2015 年度事業計画において、**新規事業**の箇所についてご説明いたします。

一つ目は公益法人化に関してです。これまで私たち作業療法士がさまざまな社会に対し行ってきたこと及び今後も社会貢献を行っていくに辺り、その社会に対しさらなる社会的信用の強化・拡大のために、現行の一般社団法人から「公益法人」の取得を目指す方向性を打ち出したことです。その一歩目としてその情報集約し進めていくために特設委員会を設置しました。

二つ目は生活行為向上マネジメントに関してです。今年度の介護報酬改定では生活行為向上リハビリテーション実施加算が新設されています。これは作業療法の骨格ともいえる自立支援に向けたアプローチが評価されたと同時に作業療法士が国や社会から期待されてきたことの現れでないかと感じています。その信頼を確固たるものにするために特設委員会を設置し推進の強化を図ることになりました。生活行為向上マネジメント推進委員会は今年度 17 回の研修会を企画し日程もすでに決まっています。是非、県士会の皆様全員がまずは基礎研修を修了して頂けますようお願い申し上げます。

三つ目は認知症施策に関してです。国は「新オレンジプラン」として、「認知症の人の意思が尊重され、出来る限り住み慣れた地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることが出来る社会を目指す」という基本的考え方を提案されています。治療早期から認知症に関わる職能団体として、行政等と連携強化と活動推進をするために特設委員会として設置しました。

2015 年度の事業が様々な県民に対し貢献できるよう県士会員の皆様と努めてまいりたいと考えています。何卒ご協力よろしくお願い申し上げます。

（文責：事務局長　福留　大輔）

正会員の皆様に役員改選公報及び第 2 回社員総会開催のお知らせに関する資料が総会終了後にお手元に届いたことと、また投票日の記載間違いがありましたことを心よりお詫び申し上げます。以後、このような不備がないよう関係部署と連携を強化し再発防止に努めてまいります。

後編記集

皆さんニュースは読まれていますでしょうか？県士会ニュースは今月号より製作を新たに高陽印刷所さんに委託しました。これまでとは違った装いで様々な情報がたくさん連載されていますので、是非一読してください！

（桜井）

一般社団法人 **作業療法士会ニュース**　〈174 号〉2015 年 7 月発行（年 6 回発行）

発行責任者　錠内 広之
編集責任者　神保 武則
編 集 担 当　出口 弦舞（国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科）
山岡 洸／桜井 大和（佐藤病院）小峰 一宏（イムス横浜狩場脳神経外科病院）
印刷　発送　株式会社髙陽印刷所
事　務　局　〒 231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301 号　TEL/FAX：045-663-5997
月火水木金　10：00 ～ 16：00　メールアドレス：jimu@kana-ot.jp
一般社団法人　神奈川県作業療法士会ウェブサイト　http://kana-ot.jp ➡ 作業療法　神奈川　検索
Facebook　https://www.facebook.com/kaotwebkan
Twitter　https://twitter.com/kaotwebkan